

検査合格証

本機は下記の検査項目に合格しております。

- (1) 使用上有害で大きな、きず・ひずみ・ひび等のないこと。
- (2) 指定通りの塗装色であり、有害な塗装欠陥のないこと。
- (3) 溶接面に目視できる有害な溶接欠陥のないこと。
- (4) オイル量が足りていること。
- (5) エア噛みがないこと。
- (6) 昇降動作に異常が無いこと。
- (7) 最大積載荷重を負荷して最高位から最低位まで昇降させた後、荷重を取り除き各部の異常がないこと。
- (8) 最大積載質量をテーブル面に負荷し、最高高さまで上昇させて15分間放置した時の降下量が揚程の2%以内であること。
- (9) 上限高さでリミットスイッチが正常に動作していること。
- (10) 無負荷で、下降させた時に途中で止まらず、下限まで下がること。
- (11) アームローラーが正しく回転していること。
- (12) 油漏れがないこと。
- (13) 製造番号等ラベルが所定の位置に貼り付けられていること。

品質保証書

ご購入日より**1年以内**、もしくは移動回数**4万回以内**に正常な状態で使用して故障し、弊社がその欠陥を認めた場合には無償修理致します。

ご購入年月日 年 月 日

型番 HDL- -

お客様	ご住所	
	お名前	様
販売店	住所	
	名前	TEL

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、ご購入取扱店が無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、ご購入取扱の販売店にご依頼ください。なお、離島及び遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご贈答品等で、ご購入取扱店に修理依頼ができない場合には、本書に記載されている本社もしくは各営業所、サービスセンターにお問い合わせください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障、及び損傷。
 - (ロ) 組立・取り付け不備による故障、及び損傷。
 - (ハ) お買い上げ後の場所移動、落下等による故障、及び損傷。
 - (ニ) 火災・地震・水害・落雪その他天災地変・公害による故障及び損傷。
 - (ホ) 本書の提示がない場合。
5. 日本国以外で使用された場合、すべてに責任を負えません。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。ので保証期間経過後の修理についてはご不明な場合は、ご購入取扱店または本書に記載の本社もしくは各営業所、サービスセンターにお問い合わせください。

総発売元 **トラスコ中山株式会社** お客様相談室 ☎ 0120-509-849

〒105-0004 東京都港区新橋4丁目28番1号 E-mail: techno.center@trusco.co.jp

<http://www.orange-book.com/>

取扱い説明書

No. 250902



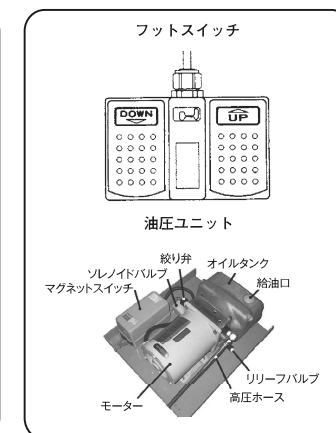
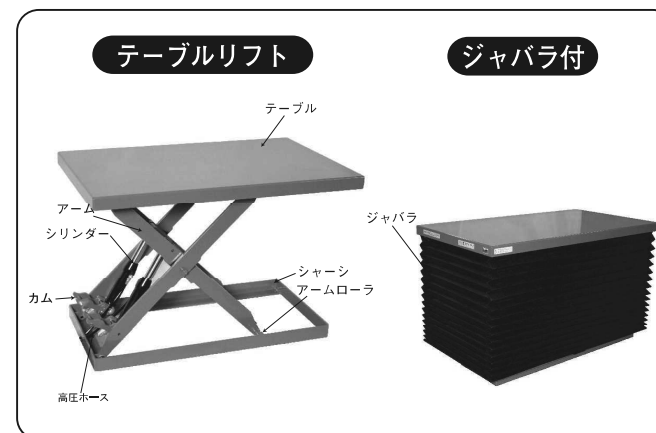
Pitless Low Lift ピットレスローリフト

この度は、テーブルリフトを御買上げ頂きましてありがとうございました。本機を安全に、能率よく御使用頂くために、必ずこの取扱い説明書を最後までお読み下さい。

△ 注意

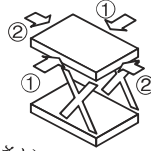
1. 取扱説明書は大切に保管し、よく活用してください。
2. 取扱説明書は最終ユーザーに必ずお渡しください。
3. 取扱説明書や警告ラベルを破損・紛失した場合には、ただちに購入店に注文してください。
4. 取扱説明書で使用方法が不明な点や疑問点がある場合は、購入店にお問い合わせください。

1 各部の名称



② 安全上の注意事項

- リフターを運搬される場合は、テーブルを下限まで降ろし、シャーシ底部にロープを掛けて吊り上げるか、フォークリフトでシャーシ底部をすくい、水平に運搬してください。倒さないでください。
- 許容荷重以上は載せないでください。
- 屋内専用です。屋外には設置しないでください。
- 傾斜地では使わないでください。転倒事故のおそれがあります。
- 積載物の移載時の許容荷重は右図の①は1/4②は1/2で設定してください。
- 改造してのご使用はおやめ下さい。やむをえず、改造される場合はご相談下さい。
- 積み荷はテーブル面からはみ出ないように、又片荷や集中荷重にならない様均等に荷積みしてください。（テーブル面のほぼ中央の2/3以上を覆うこと）
- リフターの可動、昇降部分は危険です。絶対に手足を入れないでください。メンテナンス時には、挟まれないよう二重三重の安全対策を設けてください。
- 本機は防水仕様ではありません。水気のある雰囲気で使用しないでください。
- ビッドにリフトを入れる場合には、湧き水や雨水が流れ込み感電のおそれがあります。排水設備・点検用のスペースを確保してください。
- ジャバラにさわったり、水を掛けたり、火気を近づけたりしないでください。
- 長期間使用しない時や、メンテナンス時には必ず電源を切ってください。
- 溶接作業を行う場合には基板等の電気部品を全て外してください。
- 子供にさわらせしないでください。
- 異常を感じたら直ちにお買い求めの販売店にご連絡ください。



④ 操作方法

- 1.電源用コードを電源(3相、AC200V)に接続してください。
- 2.フットスイッチの“UP(黒)”を踏むと上昇し、放すと停止します。
- 3.フットスイッチの“DOWN(赤)”を踏むと下降し、放すと停止します。
- 4.下降速度調整

下降速度は規定荷重にて工場出荷時に調整しています。原則としては調整しないでください。やむをえず調整する場合にはリフトの下降防止安全対策をしてまず絞リ弁のナットを緩め、絞リ弁を右(時計回り)に回すと下降速度は速くなり、左(反時計回り)に回すと遅くなります。1/8回転ずつ回して規定荷重を載せ調整してください。無負荷で調整すると積載時には下降速度が速くなり危険です。調整出来たら六角ナットにて絞リ弁を

- 固定してください。
- 5.圧力調整(リリーフバルブ)
圧力調整は規定荷重にて工場出荷時に調整しています。絶対にさわらないでください。



1.リフトが上限、下限に達したら速やかにスイッチを放してください。
2.3相200Vのモーターは15分定格です。昇降を繰り返す場合はモーターが、異常発熱しない様、注意してください。リフターの最大使用頻度は15回/時間です。
3.モーターが回っても上昇しない時はモーターが逆転している場合があります。電源コードのアース線以外の2本の線を入れ替えてください。

⑤ 保守点検



警告

点検は必ず無負荷の状態に、内部を点検する場合には下降防止安全対策を施してから行ってください。日常点検により、万一異常が発見された場合直ちに運転を停止し原因を調査の上、対策を行ってください。

日常点検

- リフトの昇降動作に異常はないか。周囲に障害物はないか。
- 異常音や異常発熱はないか。
- 本体外觀上に異常はないか。

定期点検(1ヶ月毎)

- 作動油は不足していないか。油漏れはないか。
- 高圧ホース、電気配線等に亀裂や破損はないか。
- 各接続部のボルト、ナット等の破損やゆるみ、がた、溶接部の亀裂はないか。
- 回転部分にハケ等でグリース等を塗布してください。

油圧作動油の交換

作動油の交換時期は使用状態によって異なりますが500時間運転毎、又は1年経過毎に交換してください。タンクの適性油面はリフターを最上端までリフトさせた時、タンクの給油口上面から約90mmのところまで。ゴミが入らないよう注意してください。油圧作動油はタービン油ISO-VG32が2リットル必要です。(150kg 300kgは1ℓです)

⑥ 諸 元

型式	許容荷重	テーブル寸法	ストローク	テーブル高さ	上昇時間		モーター出力 (kW)	自重 (kg)
	(kg)	(mm)	(mm)	(mm)	(秒)			
					50Hz	60Hz		
FLN25-509B	250	500*950	580	70-650	10	8	0.55	110
FLN25-609B	250	600*950	580	70-650	10	8	0.55	115
FLN50-509B	500	500*950	530	80-610	26	22	0.55	120
FLN50-609B	500	600*950	530	80-610	26	22	0.55	125
FLNJ50-610B	500	650*1050	530	80-610	26	22	0.55	146
FLN100-613B	1000	650*1300	802	88-890	21	17	1.13	190
FLN100-813B	1000	800*1300	802	88-890	21	17	1.13	195

③ 保守・点検時の下降防止安全対策

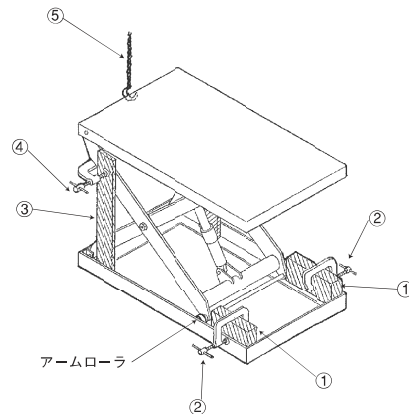


警告

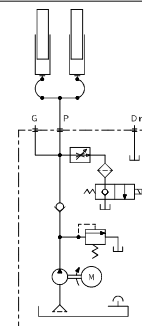
保守・点検などリフト内に入る時は、テーブル上の荷物や治具を降ろし、下降防止ストッパを設置し電源を切り、テーブルやアームが下降して手足を挟まない様に二重三重の安全対策を施してください。ストッパ等を設置しないとテーブルが下降し死亡災害のおそれがあります。

- 1.テーブル上の荷物や治具を降ろす。
- 2.テーブルを半分以上上昇させ、左右のアームローラにストッパ(角材)①などを噛ましアームが下降しない様にして且つストッパ①がずれない様にシャコ万力②でしっかり固定してください。
- 3.アーム支点軸側の端にストッパ(鋼材)③2本を垂直に立て、ずれない様にシャコ万力④でしっかり固定してください。
- 4.アーム支点軸側のテーブルをチェーンブロック又はクレーン⑤で吊り支えてください。
- 5.電源を切ってください。
- 6.ジャバラ付きの場合は、テーブル側のビス4本を外してジャバラを降ろしてから2～5の安全対策を施してください。

※ストッパ、シャコ万力等はお客様でご用意ください。



油圧回路図



電気回路図

